

日本語版 取扱説明書

ESCORT



150 Watt Powerd Mixer



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は PEAVEY 社のポータブル PA システム ESCORT をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。商品の性能をフルに発揮させ末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱い説明書を必ずお読み下さい。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管して下さい。

ESCORT パッケージ内容と主な機能

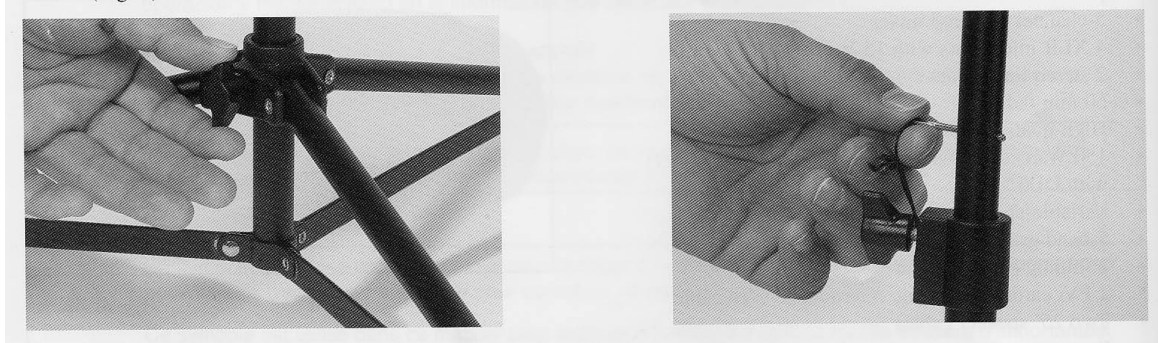
- キャスター付収納ケース
マイク、ケーブル、アクセサリ用収納スペース付
- 2 ウェイ・スピーカーシステム 2 本
10” ウーハー、ピエゾ・ホーンツイーター搭載
スピーカーケーブル 2 本 7.5m
- スピーカースタンド折りたたみ 2 本
- 5 チャンネル・パワードミキサー
ファンタム電源付キャノン入力×4、ステレオ・ライン入力 2 系統、60mm フェーダー、
高品質デジタル・リバーブ、DDT 付 150W 出力（各チャンネル 75W）、可変速度冷却ファン、
FLS 付 5 バンド EQ
- ダイナミック・マイク 1 本
Pvi 単一指向性、マイクケーブル 6.0m 付き

ご使用の前に

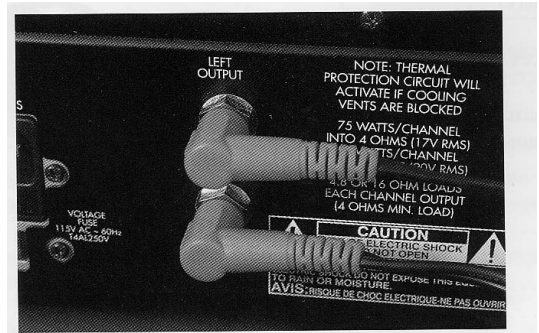
1. この取り扱い説明書にしたがって操作して下さい。
2. 水には大変弱いので、雨などがかからないよう充分ご注意下さい。
3. 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
4. 本機の設置場所は直射日光の当たる場所やストーブの直前など、高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良い場所で御使用下さい。
5. 定格電圧 AC100V, 50/60Hz で御使用下さい。
6. 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらない様御注意下さい。
7. 信号の入出力端子に、許容範囲を越える異常電圧が加わらない様にして下さい。
8. 故障や感電事故を防止すると共に、性能を維持する為にも、ケースを開けて内部に触れたりしないでください。修理が必要な時には、販売店、もしくは輸入代理店までお問い合わせ下さい。

スピーカーの設置

1. スピーカーが上に来るようケースを置き、ラッチを上げてスピーカーを外して下さい。
注意：スピーカーを外してからも、ラッチを閉める事は可能です。収納されている物とラッチを保護するためにも、スピーカーを外した後にはラッチを閉めて下さい。
2. ケースからスピーカースタンドを取り出します。安定感を保つために足を完全に開き、平らな面に設置して下さい。ベースのネジをしっかりと締めます。（ネジの締め過ぎに注意して下さい）スタンドの高さ調節後、ネジを締めセーフティー・ピンを挿入して下さい。



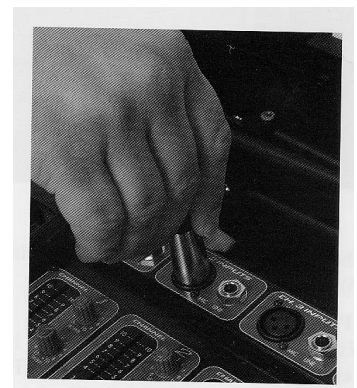
3. スピーカーをスタンドに設置します。マイクがスピーカーの音を直接拾わない所に設置して下さい。パワーミキサーのリアパネルからスピーカー前面下部にある入力端子とパワーミキサーの出力端子を付属のスピーカーケーブルで接続して下さい。



注意：ESCORTには他のスピーカーを接続しないで下さい。スピーカーとアンプは最適な組み合わせになる様デザインされています。

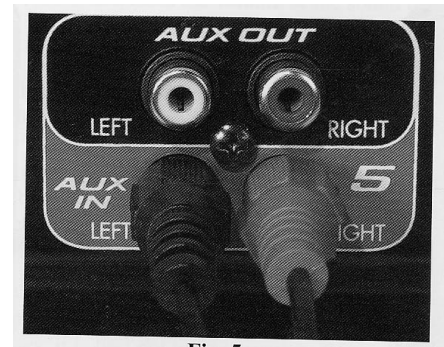
マイクの接続

ESCORTのパワーミキサーでは付属のPVIと同様に高品質のバランス、ダイナミックマイク及びコンデンサーマイクも使用可能です。マイクをXLR端子（3ピン）に接続して下さい。マイクを一本以上接続する際はステージに設置されている順番と同じようにチャンネルを振り分けて下さい。後からの調節が簡単になります。



CD・テープその他ライン出力機材の接続

CD プレーヤーやテープ・プレーヤーなどを接続する際はチャンネル 5 の AUX 入力端子 (AUX IN) に接続して下さい。ライン出力機材の接続を追加する際はチャンネル 5 にはステレオ・ライン入力が付いており、チャンネル 1-3 はモノラル (MONO) ライン入力があります。チャンネル 4 LEFT/MONO 端子のみに接続すると自動的にモノラルに切替えられます。(音は両スピーカーから出力されます)



電源の接続

1. 電源を入れる前に電源スイッチが **OFF** になっていることを御確認します。
2. IEC 電源コードをバックパネルの電源端子に接続後、コンセントに接続して下さい。
3. 電源タップを使用する際は 3 ワイヤコードを使用し、アースを取りながら使用して下さい。

コントロールの設定と電源の入れ方

マスターコントロールを 6 に設定し、その他のコントロールを 0 に設定して下さい。電源は IEC 電源コード端子横の OFF/ON スイッチを ON にして下さい。



ゲインとボリュームコントロール (フェーダー)

ゲイン・コントロールを使用してスピーカーからの出力調節を行って下さい。ゲインの設定が 1~3 に設定されている状態で既に好みのレベルに到達してしまう場合はマスターボリュームを下げて調整して下さい。ゲインを 9~10 に設定しなければ十分に音が出ない場合はマスターボリュームを上げて調整して下さい。L と R のマスターボリューム・コントロールは左右の各スピーカー音量の調節を行います。



トーン・コントロールの調節

各チャンネルの BASS と TREBLE を調節します。お好みのトーンを調整して下さい。極端なブースト (+) はマイクを通してのフードバックを起しやすくなるので注意して下さい。

グラフィック EQ

各チャンネルの BASS と TREBLE のコントロールとは別に、5 バンド・グラフィック EQ で信号の全体的なトーンの調整を行います。ここでもまた極端な調節は避けてください。FLS (フィードバック探知システム) LED インジケータはフィードバック防止には欠かせないツールです。FLS 機能を使用する際、グラフィック EQ スライダーを 0 にして下さい。本番での使用前に、マスターボリュームと (または) チャンネルゲインをフィードバックが起こるまで上げて下さい。LED が点灯しているスライダーを若干下げてください。これでフィードバックが起こっている周波帯のゲインを下げます。これを繰り返す事でフィードバックが起こりにくい設定を完成することができます。(極端な調節は避けて下さい。)



ハウリングを避ける為に

ハウリングとはスピーカーから出力された音が再度マイクに拾い発生する状態のことです。ハウリングを出来る限り押さえるには EQ の調節を行う前にマイクとスピーカーを設置する位置を考えることが大切です。そしてスピーカーを出来る限りマイクに音がかぶらない位置に設置して下さい。これによりゲインを上げずに音を拾う事が出来ます。

リバーブ

マイクにリバーブを加える際、入力されているチャンネルの REVERB コントロールを上げながら最適なレベルに調整して下さい。

ステレオ/モノラル

エスコート 2000 パワードミキサーはステレオ・ライン機材用として入力チャンネルが 2 系統あります。(4ch と 5ch) 両スピーカーを聞こえるように設置する場合は、ステレオでの仕様が効果的です。もしスピーカーが一つしか聞こえないような設置の場合です。モノラル仕様が効果的です。チャンネル 5 のモードスイッチを使用しステレオとモノラルの切替が行えます。チャンネル 4 では LEFT 入力のみを使用することで、モノラル仕様になります。チャンネル 1~3 はモノラルです。チャンネル 5 のモードスイッチは“スイッチトラック”を採用しているテープや CD を流す時に便利です。スイッチを MONO にすることで左右両方の信号を両スピーカーに流すことが出来ます。

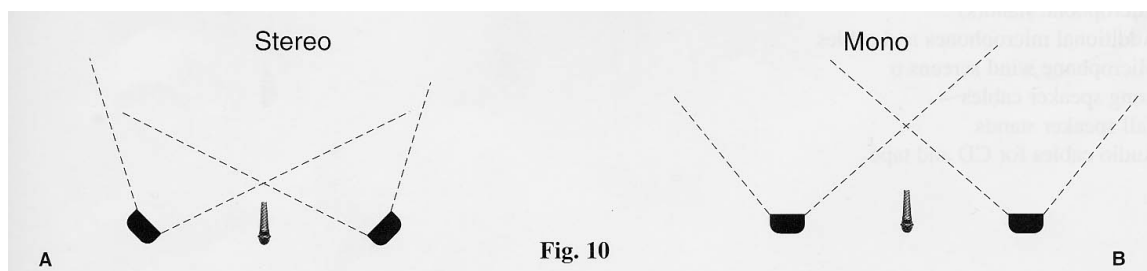


Fig. 10

メインとモニター

ESCORT2000 はステージモニターが必要な時も便利です。ミキサーをモノラル・モードにすることで一方を観客に、もう一方をモニターとして使用する事が可能です。マスターボリューム・コントロールの調節で左右のスピーカー音量を別々に設定する事が出来ます。このコントロールはそのために MAIN・MON と表示されています。（スピーカーの追加は AUX OUT から行って下さい。）

AUX OUT

AUX OUT とはミキサーからラインレベル出力を出す事で、レコーディングをしたり、AUX アンプをドライブする事も出来ます。

注意：AUX OUT から機材へ録音し、その機材から信号をミキサーに入力する事でフィードバック・ループを生み出してしまう可能性がありますので注意して下さい。接続の際は入力か出力のみをミキサーに接続して下さい。

ESCORT の収納

ESCORT の特徴は全て専用ケースに収まるという事です。

1. スピーカースタンドをたたみ、ケース内のストラップで固定します。
2. マイクを専用ケースに収納し、ケーブルをスピーカースタンドと一緒に入れるか小物ケースに収納して下さい。
3. スピーカーを下に向けて4つのラッチを締めて下さい。

これでキャスターを使用し移動が簡単に出来ます。



保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。

但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱方法が不適當（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。

